

第34回 肝炎対策推進協議会

令和7年3月7日

参考資料5

都道府県の肝炎対策に係る計画等

厚生労働省 健康・生活衛生局

がん・疾病対策課肝炎対策推進室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標①（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標・その他）	達成状況								
北海道	北海道医療計画 北海道がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎ウイルス検査の受検促進 ・ウイルス性肝炎の進行防止 ・肝炎患者の相談への対応 ・肝疾患診療連携拠点病院等の医療提供体制の整備促進 ・肝炎対策協議会における今後の対策の検討 	概ね達成できている								
青森県	青森県肝炎総合対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性肝炎からの肝硬変又は肝がんへの移行者を減らす ◎フォローアップ体制整備済市町村割合100% ◎肝炎医療コーディネーター設置医療機関割合※100% ※医療機関（肝疾患診療連携拠点病院及び専門医療機関） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ウイルス性肝炎からの肝硬変又は肝がんへの移行者を減らす ・肝硬変死亡率（人口10万人対：男女計） →目標値：7.1以下、現状値：8.9（令和4年） ・肝がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万人対：男女計） →目標値：3.7以下、現状値：4.0（令和4年） ・肝がんの年齢調整罹患率（人口10万人対：男女計） →目標値：7.0以下、現状値：11.3（令和元年） ○フォローアップ体制整備済市町村割合100% →現状値：75.0%（令和5年度） ○肝炎医療コーディネーター設置医療機関割合100% →現状値：100%（令和5年度） 								
岩手県	岩手県肝炎対策計画 岩手県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・肝硬変又は肝がんへの移行者を減らす ・肝がん、肝硬変による死亡率の減 ◎肝炎ウイルス検査の受検率 全ての医療圏で50%以上 ◎地域肝疾患アドバイザー配置の市町村 100% ◎肝炎かかりつけ医研修の年1回以上の受講 100% ◎広報媒体を活用した普及啓発 年5回以上 	<table border="0"> <tr> <td>受検率</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>市町村配置</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>年1回以上の受講</td> <td>68%</td> </tr> <tr> <td>普及啓発</td> <td>年5回</td> </tr> </table>	受検率	集計中	市町村配置	76%	年1回以上の受講	68%	普及啓発	年5回
受検率	集計中										
市町村配置	76%										
年1回以上の受講	68%										
普及啓発	年5回										
宮城県	宮城県肝炎対策の推進に関する指針 宮城県地域医療計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ◎肝がんの75歳未満年齢調整死亡率の12%減少 2 ◎B型肝炎ワクチン接種率 90%以上（3回すべて） 3 ◎肝炎検査の受検者数（県分） 10,000名以上（5年間） 4 ◎フォローアップ事業の同意率100% 5 ◎市町村のフォローアップ事業実施率 80% 6 ◎肝炎医療コーディネーターの養成者数 500名（5年間） <ul style="list-style-type: none"> ◎宮城県肝炎医療コーディネーターの配置 7-1保健所（県及び仙台市） 4か所（100%） 7-2肝疾患専門医療機関及び診断作成医療機関 23か所（100%） 7-3市町村 28か所（80%） 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4.0% 2. 96.1% 3. 7,867名(令和元年度から令和5年度) ※令和5年度は1,646名 4. 県：100% 仙台市：93.1% 5. 51.4% 6. 315名(令和元年度から令和5年度) ※令和5年度は83名 <ul style="list-style-type: none"> 7-1. 10か所 7-2. 23か所 7-3. 7市町村 								

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標②（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況															
秋田県	秋田県肝炎対策推進計画（第3期）	<ul style="list-style-type: none"> ◎保健所、委託医療機関、市町村が実施するB型及びC型肝炎ウイルス検査の受検者総数を70,000人とする。（令和9年度まで） ◎保健所検査、委託医療機関検査及び市町村検診の陽性者のうち、「初回精密検査」の助成制度利用者の割合を50%とする。 ◎「定期検査」の助成利用者件数を、年100件とする。 ◎肝炎医療コーディネーターを500人、全市町村で養成する。（令和9年度まで） 	<ul style="list-style-type: none"> ・受検者総数：59,350人 ・「初回精密検査」の助成制度利用者の割合：53.3%（R5年度速報値） ・「定期検査」の助成利用者件数：のべ64件 ・肝炎医療コーディネーター数：354人 25市町村のうち5市町村において不在 															
山形県	山形県肝炎対策指針（第2期） 山形県保健医療計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんの年齢調整罹患率（人口10万対）：8.9未満に減少（令和5年） ◎肝がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）：3.3未満に減少（令和5年） ◎肝炎治療費助成受給者数（累計数）：3,700人（令和5年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんの年齢調整罹患率（人口10万対）：8.8（令和元年） ◎肝がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）：3.3（令和4年） ◎肝炎治療費助成受給者数（累計数）：4,158人（令和5年度） 															
福島県	福島県肝炎対策基本計画 福島県医療計画 福島県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎ウイルス検査の受検促進、検査で陽性と判明した者や肝炎患者の早期受診の促進により、肝硬変又は肝がんへの移行者を減らし、肝がん罹患率及び死亡率の減少を目指す。 <p><モニタリング指標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>目指す方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・肝がん年齢調整罹患率（10万人対）</td> <td>10.3(R元年)</td> <td>減少</td> </tr> <tr> <td>・肝がん75歳未満年齢調整死亡率（10万人対）</td> <td>3.5(R3年)</td> <td>減少</td> </tr> <tr> <td>・健康増進事業における陽性者フォローアップ実施市町村数</td> <td>23(R3年度)</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>・肝炎医療コーディネーター養成者数</td> <td>558人(H29～R5年度累計)</td> <td>増加</td> </tr> </tbody> </table>		現状値	目指す方向性	・肝がん年齢調整罹患率（10万人対）	10.3(R元年)	減少	・肝がん75歳未満年齢調整死亡率（10万人対）	3.5(R3年)	減少	・健康増進事業における陽性者フォローアップ実施市町村数	23(R3年度)	増加	・肝炎医療コーディネーター養成者数	558人(H29～R5年度累計)	増加	<p><モニタリング指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝がん年齢調整罹患率（10万人対） 10.4(R2年) 現状値より0.1%増加 ・肝がん75歳未満年齢調整死亡率（10万人対） 3.3(R4年) 現状値より0.2%減少 ・健康増進事業における陽性者フォローアップ実施市町村数 32(R4年度) 現状値より9市町村増加 ・肝炎医療コーディネーター養成者数 664人(H29～R6年度累計) 現状値より106人増加
	現状値	目指す方向性																
・肝がん年齢調整罹患率（10万人対）	10.3(R元年)	減少																
・肝がん75歳未満年齢調整死亡率（10万人対）	3.5(R3年)	減少																
・健康増進事業における陽性者フォローアップ実施市町村数	23(R3年度)	増加																
・肝炎医療コーディネーター養成者数	558人(H29～R5年度累計)	増加																
茨城県	茨城県肝炎対策指針 茨城県医療計画 茨城県総合がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝硬変又は肝がんへの移行者を減らし、肝がんの罹患率を減少させる ・保健所におけるウイルス検査数 年1,500件（H30-R5年度） ・市町村検診新規陽性者の受診率60%以上（H30-R5年度） ・全市町村における陽性者フォローアップ事業実施（H30-R5年度） ・全ての肝疾患専門医療機関、保健所、市町村への肝炎医療コーディネーター配置（H30-R5年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所におけるウイルス検査件数（R5実績） HBs抗原検査（1,035）、HCV抗体検出（1,019）、 HCV抗体検査(4)、HCV核酸増幅検査（1） ・市町村検診新規陽性者の受診率(70.5%) ・陽性者フォローアップ実施（44/44） ・コーディネーターの配置 専門医療機関(33/33)、保健所（9/9）、市町村(38/44) 															

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標③（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標・その他）	達成状況
栃木県	栃木県肝炎対策推進計画（3期計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性肝炎の早期発見、早期治療により重症化予防を図り、肝硬変、肝がんへの移行者を減らす。 ◎肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）：全国平均以下 ◎肝硬変による死亡率（人口10万対）：全国平均以下 ◎国保加入者40歳検診対象者の肝炎ウイルス検査受検率：約14%⇒上昇 ◎検診事業における陽性者の受診勧奨実施市町数：14市町⇒全市町（25市町） ◎各機関におけるコーディネーター配置率：専門医療機関、健康福祉センター、市町の全てに配置（専門医療機関48.8%、健康福祉センター100%、市町80%⇒100%） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）【全国平均3.5、栃木3.5（R4）】 ◎肝硬変による死亡率（人口10万対）【全国平均1.5、栃木1.6（R4）】 ◎国保加入者40歳検診対象者の肝炎ウイルス検査受検率【13.2%（R4）】 ◎検診事業における陽性者の受診勧奨実施市町数【14市町（R4）】 ◎各機関におけるコーディネーター配置率【専門医療機51.3%、健康福祉センター100%、市町80%（R5）】
群馬県	第3次群馬県肝炎対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎から肝硬変、肝がんへの移行者を減らす ◎肝及び肝内胆管がん年齢調整死亡率（75歳未満人口10万対）の25%低下（目標値 2.4） ◎肝炎ウイルス検査受検率を増加（40歳定期のウイルス検査受検率：15%以上） ◎肝炎ウイルス陽性者の受診率を増加（ウイルス検査陽性者の受診率：90%以上） ◎フォローアップ参加率の増加（肝炎ウイルス陽性者のフォローアップ事業参加率：95%以上） ◎肝炎医療コーディネーターの配置施設の増加（職域におけるコーディネーター配置率：40%以上） ◎術前検査の告知率を増加（医療機関における術前検査結果の告知率：100%） （目標年度はいずれも2027年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝及び肝内胆管がん年齢調整死亡率 令和4年 3.1 ◎肝炎ウイルス検査受検率 令和4年度 7.5% ◎肝炎ウイルス陽性者の受診率 令和4年度 53.4% ◎フォローアップ参加率 令和4年度 44.8% ◎肝炎医療コーディネーター配置施設 令和5年度 2.6% ◎術前検査の告知率 令和5年度 29.5%
埼玉県	埼玉県肝炎対策推進指針	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性肝炎の完全な克服を目指すための取組を強化し肝がんの罹患率をできるだけ減少させる。肝硬変又は肝がんへの移行者を減らす。 ◎肝炎ウイルス検査を受けたことがある県民の割合：70%（R8年度） ◎日本肝臓学会肝臓専門医及び埼玉県肝炎医療研修会受講修了医師数の確保 医療圏あたり10人（人口10万対） ◎肝炎コーディネーターの設置 肝炎医療コーディネーター 医療圏あたり10人（人口10万対） 肝炎地域コーディネーター 医療圏あたり3人（人口10万対） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎ウイルス検査を受けたことがある県民の割合：82.9%（R5年度） ◎日本肝臓学会専門医及び埼玉県医療研修会受講終了医師数の確保 医療圏当たり12.45人（人口10万対） 肝炎医療CO 医療圏当たり11.88人（"） 肝炎地域CO " 4.97人（"） （R6.1.1現在）

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標④（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
千葉県	千葉県肝炎対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・肝硬変又は肝がんへの移行者を減らす ◎肝炎ウイルス検査数（県、市町村実施分）：年間の検査数150,000件（R4-R8年度） ◎肝炎ウイルス陽性者の医療機関受診（精密検査受検）率（県、市町村実施分）：60%以上（R4-R8年度） ◎指定医療機関における肝炎医療コーディネーター配置率：肝疾患指定医療機関に一人以上(R4-R8年度) ◎肝がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）：3.5未満（R4-R8年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎ウイルス検査数：116,489件（速報値） ◎肝炎ウイルス陽性者の医療機関受診率：42.6%（速報値） ◎指定医療機関におけるコーディネーター配置率：21.1% ◎肝がん75歳未満年齢調整死亡率：3.5（2022年）
東京都	東京都肝炎対策指針	◎「肝炎の完全な克服」を達成することなどで、肝硬変又は肝がんへの移行者を減らすことを目標とし、肝がんのり患率（年齢調整り患率）をできるだけ減少させることを指標として設定	
	肝炎対策実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域連携パスの運用（登録数1,670人） ◎肝炎コーディネーターの養成（令和5年度 200名） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域連携パスの運用（登録数1,775人） ◎肝炎コーディネーターの養成（令和5年度 380名）
神奈川県	神奈川県肝炎対策推進計画 神奈川県保健医療計画 神奈川県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎に対する認知度（どのような病気が知っている割合）の向上 60.0%（05-09年度） ◎肝炎ウイルス検査受検率の向上 33.2%（05-09年度） ◎全市町村における肝炎ウイルス陽性者を適切に医療につなげるための体制の構築（陽性者フォローアップ実施市町村数） 33自治体（全市町村）（05-09年度） ◎肝疾患コーディネーターの配置自治体 33自治体（全市町村）（05-09年度） ◎相談したいが相談できないでいる患者の割合の減少 0%（05-09年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎に対する認知度 54.0% ◎肝炎ウイルス検査受検率 24.8% ◎陽性者フォローアップ実施市町村数 27自治体 ◎肝疾患コーディネーター配置自治体 22自治体 ◎相談したいが相談できないでいる患者の割合の減少（参考値令和2年度調査 10.0%）

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑤（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	
新潟県	新潟県がん対策推進計画 新潟県地域保健医療計画 新潟県肝炎対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての県民が、一度は肝炎ウイルス検診等を受診すること ◎肝がん年齢調整罹患率の減少 ・すべての市町村が肝炎ウイルス検診陽性者の医療機関受診状況を把握すること ・肝炎ウイルス検診等の陽性者に対するフォローアップ体制を充実すること ・肝疾患診療連携拠点病院を中心とした肝疾患診療連携体制を充実すること ◎肝炎医療コーディネーター養成済施設の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・肝がん年齢調整罹患率は横ばいの状況となっているため、県民に対し肝炎ウイルス検診の受診と陽性者の医療機関受診を促進し、引き続き肝炎対策に取り組む。 ・肝炎医療コーディネーター養成済施設は、対象施設（77施設）のうち62施設（R2）から65施設（R5）に増加しており、目標を達成している。
富山県	富山県肝炎対策推進指針 富山県がん対策推進計画	アウトカム指標 ① 肝及び肝内胆管がん年齢調整罹患率の減少 ② 肝及び肝内胆管がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）の減少 プロセス指標 1 ①肝炎ウイルス検査受検者数：毎年度4,000人増加 ②肝炎ウイルス検診の受診率（40歳節目のみ）：13% プロセス指標 2 ①精密検査受診率（B型・C型の合計）100% ②妊婦一般健康診査での肝炎ウイルス陽性となった妊婦の精密検査受診率100% ③県及び市町村の陽性者フォローアップ実施率（B型・C型の合計）100% ④妊婦一般健康診査における陽性者のフォローアップ実施率（B・C型の合計）：100% プロセス指標 3 肝炎医療コーディネーターの養成者数：今後5年間で150名養成 肝炎ウイルス検診の受診率の増加（40歳節目のみ）及び肝がん罹患率、肝がんによる死亡者の減少、肝炎医療コーディネーター養成者数については、富山県がん対策推進計画にも明記している。	アウトカム指標 ① 肝及び肝内胆管がん年齢調整罹患率：男性18.1 女性5.2（R1） ② 肝及び肝内胆管がん75歳未満年齢調整死亡率：男性4.6、女性0.7 プロセス指標 1 ①肝炎ウイルス検査受検者数：B型3,858人、C型3,854人（R3） ②肝炎ウイルス検診の受診率（40歳節目のみ）：9.4%（R3） プロセス指標 2 ①精密検査受診率（B型・C型の合計）72.2%（R3） ②妊婦一般健康診査での肝炎ウイルス陽性となった妊婦の精密検査受診率 未把握 ③県及び市町村の陽性者フォローアップ実施率（B型・C型の合計）100%（R3） ④妊婦一般健康診査における陽性者のフォローアップ実施率（B・C型の合計）：18.8% プロセス指標 3 肝炎医療コーディネーターの養成者数：37名（R5）

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑥（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
石川県	石川県肝炎対策の推進に関する基本的な考え方 石川県医療計画 石川県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・肝及び肝内胆管がん75歳未満死亡数及び同年齢調整死亡率（人口10万対）の減少 ・B型肝炎ワクチンの定期接種率の増加 ◎肝炎ウイルス検査の受検者数：保健所において5年間で累計1,250人以上、委託医療機関において5年間で累計7,000人以上 ・肝炎ウイルス検査実施医療機関（委託医療機関）の増加 ・フォローアップ実施市町及び保健所を県内全市町及び保健所として維持 ・精密検査受診率の増加 ・石川県肝炎診療連携同意者数及び調査票回収率の増加 ・初回精密検査・定期検査費用助成件数の増加 ・専門医療機関数の維持 ・専門医療機関の指定されている二次医療圏数を全医療圏として維持 ◎石川県肝炎医療コーディネーターの認定者数（実人数）：300人 ◎石川県肝炎医療コーディネーターの専門医療機関等への配置率：100% ・拠点病院・専門医療機関での相談窓口設置機関数の維持 ◎保健所における肝炎患者対象の講演会の開催回数を毎年4回以上開催 	<p>【達成済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝及び肝内胆管がん75歳未満死亡数及び同年齢調整死亡率（人口10万対）の減少 ・B型肝炎ワクチンの定期接種率の増加 ・肝炎ウイルス検査実施医療機関（委託医療機関）の増加 ・フォローアップ実施市町及び保健所を県内全市町及び保健所として維持 ・専門医療機関数の維持 ・専門医療機関の指定されている二次医療圏数を全医療圏として維持 ◎石川県肝炎医療コーディネーターの認定者数（実人数）：300人 ◎石川県肝炎医療コーディネーターの専門医療機関等への配置率：100% ・拠点病院・専門医療機関での相談窓口設置機関数の維持 ◎保健所における肝炎患者対象の講演会の開催回数を毎年4回以上開催 <p>【一部未達成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精密検査受診率の増加 ・石川県肝炎診療連携同意者数及び調査票回収率の増加 <p>【未達成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎ウイルス検査の受検者数：保健所において5年間で累計1,250人以上、委託医療機関において5年間で累計7,000人以上 ・初回精密検査・定期検査費用助成件数の増加
福井県	福井県肝炎対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎検査の実施体制の充実および検査の促進 肝炎ウイルス検査陽性者の医療機関受診率の把握 肝炎ウイルス検査(健康福祉センター・委託医療機関分)件数の増加1,300件 ◎肝炎医療を提供する体制の確保 肝炎医療コーディネーターの養成50人 ◎肝炎治療促進のための環境整備 肝炎ウイルス相談件数(健康福祉センター・拠点病院分)の増加2,800件 	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎検査の実施体制の充実および検査の促進 検査件数 R5:1,149件（R4:850件） ・肝炎医療を提供する体制の確保 コーディネーター養成数 R5:69人（R4:46人） ・肝炎治療促進のための環境整備 利用率 R3:17%（R2:32%） 相談件数 R5:1,547件（R4:949件）

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑦（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
山梨県	第3次山梨県肝炎対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんの75歳未満年齢調整死亡率について全国平均を下回る水準とし、それを維持する。 ◎肝がんの年齢調整罹患率について全国平均を下回る水準とし、それを維持する。 ◎ウイルス性肝炎や肝がんの原因に関する正しい知識についてけっみの理解度を高める（県政モニターアンケートで肝炎や肝がんの原因に関する認知度を70%以上に高める）。 ◎肝炎ウイルス検査未受検者の受検を推進する。（県政モニターアンケートにおいて、肝炎ウイルス検査受検済みの人の割合を50%以上に高める。） ◎肝がんの重症化を防止するために、肝がんを早期発見割合を高める。（肝がん発見時の臨床進行度について限局を70%以上に高める。医療安全講習会を年1回開催する。） ◎肝疾患コーディネーターのさらなる養成を図るとともに、コーディネーターのネットワーク化を図る。（肝疾患コーディネーターを毎年度70人養成する。肝疾患コーディネーターのネットワーク化を図る） 	計画実施がR5-9年度のため、達成状況は今後検証予定
長野県	長野県肝炎対策推進計画 信州保健医療総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝疾患による年齢調整死亡率（人口10万対）：男性10.2未満、女性2.6未満 ◎保健所の無料検査の受診者数：B型100人、C型100人 ◎市町村の肝炎検査の受診者数：B型21,000人、C型21,000人 ◎肝炎専門医療機関の増加：54以上 ◎かかりつけ医の増加：143以上 ◎ウイルス肝炎検査の実施市町村数：66以上 ◎ウイルス検査陽性者へのフォローアップ等を行う市町村数： 受診勧奨64以上、受診結果確認48以上 ◎職域の健康診断におけるウイルス肝炎検査数： 実施事業所数：2,300 受診者数：39,000人 <p>（目標年度はいずれも2023年度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝疾患による年齢調整死亡率（人口10万対）：男性4.1（2022）、女性0.9（2019） ◎保健所の無料検査の受診者数：B型217人、C型211人（2023） ◎市町村の肝炎検査の受診者数：B型15,181人（2018）、C型15,464人（2019） ◎肝炎専門医療機関の数：56（2023） ◎かかりつけ医の数：137（2023） ◎ウイルス肝炎検査の実施市町村数：70（2022） ◎ウイルス検査陽性者へのフォローアップ等を行う市町村数：受診勧奨：69（2021）、受診結果確認：66（2022） ◎職域の健康診断におけるウイルス肝炎検査数： 実施事業所数：2,058（2021） 受診者数：46,690人（2018） （2018～2023年度実績のうち、最も内容の良かったものを記載（暫定値、括弧内は実績年度））

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑧（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
岐阜県	岐阜県保健医療計画 岐阜県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎医療コーディネーター登録者数：令和6年度 300人以上、令和8年度 400人以上 ◎肝炎ウイルス陽性者フォローアップ登録者数：令和6年度 400人以上、令和8年度 500人以上 ・県民への肝炎ウイルス検査の周知（リーフレット、HP等による普及啓発、職域検査の受検勧奨、肝炎医療コーディネーターの育成と活動支援） ・肝炎ウイルス陽性者へのフォローアップの拡充（リーフレット、HP等による普及啓発、有用な情報（初回精密検査・定期検査の勧奨、相談会の開催案内等）の提供、肝炎医療コーディネーターの育成と活動支援、医療費助成） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎医療コーディネーター登録者数：令和5年度 296人 ◎肝炎ウイルス陽性者フォローアップ登録者数：令和5年度 329人 ・県民への肝炎ウイルス検査の周知：リーフレット、HP等による普及啓発、職域検査の受検勧奨、肝炎医療コーディネーターの養成講習会等を実施 ・肝炎ウイルス陽性者へのフォローアップの拡充：リーフレット、HP等による普及啓発、初回精密検査・定期検査の勧奨と助成制度の案内等を実施
静岡県	静岡県肝炎対策推進計画 静岡県保健医療計画 静岡県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がん罹患率（人口10万人当たり）を低減する：2019年 12.0 ◎肝疾患死亡率（人口10万人当たり）を低減する：2022年 27.0 ◎ウイルス性肝炎の死亡数を削減する：2022年 50人 ◎最近1年間に差別の経験をした肝炎患者数を毎年度0人にする ◎B型肝炎ウイルスの予防接種の接種率を90%以上にする ◎肝炎ウイルス検査の受検者をB型・C型それぞれ40,000人以上にする ◎肝炎ウイルス検査陽性者の受診率を90%以上にする ◎肝疾患かかりつけ医研修受講率を90%以上にする ◎活動できる肝炎医療コーディネーターを450人以上養成し、維持する ◎肝疾患を患うことによる悩みや困り事の相談先がない肝炎患者の割合を10%以下にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がん罹患率：2019年 10.9（達成） ◎肝疾患死亡率：2022年 26.1（達成） ◎ウイルス性肝炎の死亡数：2022年 42人（達成） ◎差別の経験をした肝炎患者数 2023年：1人（未達成） ◎接種率を90%以上にする 2022年：97.4%（達成） ◎2021年 B型：33,235人 C型：33,642人（未達成） ◎陽性者の受診率 2022年：116.9%（達成） ◎受講率 2023年：88.3%（未達成） ◎肝炎医療コーディネーター 2023年：508人（達成） ◎肝炎患者の割合 2023年：25.4%（未達成）
愛知県	愛知県肝炎対策推進計画 愛知県地域保健医療計画 愛知県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎県及び市町村においてB型・C型肝炎ウイルス検査をそれぞれ年間46,000件以上実施 ◎市町村における肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨・受診確認実施率100% ◎県及び市町村における肝炎ウイルス検査（特定感染症検査等事業・健康増進事業）で判明した陽性者の受診率50%以上 ◎肝炎医療コーディネーター研修を年に1回以上開催 ◎肝炎医療コーディネーターを県内全市町村及び肝疾患専門医療機関1名以上配置 	<ul style="list-style-type: none"> ◎B型肝炎ウイルス検査39,005件、C型肝炎ウイルス検査38,960件→未達成 ◎受診勧奨87%、受診確認74.1%→未達成 ◎陽性者受診率38.9%→未達成 ◎コーディネーター養成講習会2回開催→達成 ◎配置市町村98.1% 配置肝疾患専門医療機関32.9% →未達成

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑨（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標・その他）	達成状況
三重県	三重県がん対策推進計画 第4期三重県がん対策戦略プラン	◎肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率：80%（令和5年度） ・肝炎ウイルスの検査体制の充実を図る（保健所での夜間検査の実施、市町での節目検診の 広報の推進）等 ・肝炎ウイルス感染予防についての普及啓発の充実を図る（リーフレットやホームページ等の活用、 未受検者に対する受診勧奨の実施）	◎50% ・市町等へのリーフレットの提供や県ホームページにて掲載する等、啓発を実施。
滋賀県	滋賀県保健医療計画 滋賀県がん対策推進計画	◎保健所における肝炎ウイルス検査件数：B型、C型2,213件（2023年度） ◎肝炎医療コーディネーター養成 ◎肝炎ウイルス検査陽性者が医学的管理を受けている。	◎保健所における肝炎ウイルス検査件数：B型、C型1,415件（2023年度） ◎合計505名育成した。 ◎肝炎ウイルス検査陽性者が医学的管理を受けているよう術前等検査結果が確実に専門医等へ紹介できるよう県内医療機関を指導中。それに伴い、令和6年度にセミナーを開催した。
京都府	京都府保健医療計画 京都府がん対策推進計画	◎肝がんの年齢調整罹患率（人口10万対）13.8（2023年度） ◎無料肝炎ウイルス検査実施医療機関数：200（2023年度） ◎肝炎ウイルス検査の個別勧奨実施市町村：全市町村（2023年度） ◎肝炎患者に対し相談支援等を行う人材（肝炎医療コーディネーター）を養成：400人（2023年度）	◎肝がんの年齢調整罹患率（人口10万対）12.2 ◎無料肝炎ウイルス検査実施医療機関数：109 ◎肝炎ウイルス検査の個別勧奨実施市町村：23/26 ◎肝炎患者に対し相談支援等を行う人材（肝炎医療コーディネーター）を養成：335
大阪府	大阪府がん対策推進計画	◎肝炎ウイルス検査累積受診者数：約109万人 ◎肝炎ウイルス検査精密検査受診率：80%	◎肝炎ウイルス検査累積受診者数：令和3年度時点で約88万人。目標値である109万人には到達できなかったが、ベースライン値と比較して改善傾向にある。 ◎肝炎ウイルス検査精密検査受診率：令和3年度時点で54.3%。目標値である80%には到達できなかったが、ベースライン値と比較して改善傾向にある。

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑩（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
兵庫県	兵庫県保健医療計画 兵庫県がん対策推進計画	◎肝がんの年齢調整罹患率を2026年全国値以下にする。 ◎肝がんの75歳未満年齢調整死亡率を2027年全国値以下にする。	肝がんの年齢調整罹患率は年々減少しており、引き続き目標達成に向けて取り組む。 75歳未満年齢調整死亡率については2022年に全国値以下となったが、さらなる死亡率低下につながるよう、肝がんの予防と早期発見のため、県民への啓発等の取り組みを行っている。
奈良県	奈良県がん対策推進計画 奈良県肝炎対策ガイドライン	◎ B型肝炎ワクチンの予防接種率の増加 ◎ 受検（受診）者数の増加 ◎ 初回精密検査受診率の増加 ◎ 全市町村に肝炎医療コーディネーターを養成 ◎ 相談件数の増加 ◎ 個別受診勧奨実施市町村数の増加	◎ B型肝炎ワクチンの予防接種率の増加 →目標設定時と同じ指標をとることができなくなったため評価できず ◎ 受検（受診）者数の増加 →数値改善（H28:4,688人→R4:6,072人） ◎ 初回精密検査受診率の増加 →数値改善（H28:42.6%→R4:68.2%） ◎ 全市町村に肝炎医療コーディネーターを養成 →数値改善 （H28:18/39市町村→R5:32/38市町村） ◎ 相談件数の増加 →減少（H28:493件→R4:89件） ◎ 個別受診勧奨実施市町村数の増加 →数値改善 （H28:27/39市町村→R4:31/39市町村）
和歌山県	和歌山県保健医療計画 和歌山県がん対策推進計画	・健診の場での肝炎ウイルス検査の受検者数の増加 ・肝炎ウイルス検査事業の推進	啓発活動の実施や委託医療機関への資料の送付等により、肝炎ウイルス検査事業の普及を推進している。
鳥取県	第2次鳥取県肝炎対策推進計画 第3次鳥取県がん対策推進計画	・肝炎及び肝臓がんに関する正しい知識の普及 ・肝炎ウイルス陽性者の早期発見の推進 ・肝炎ウイルス陽性者を病態に応じた適切な治療につなげるための環境整備の推進 ◎平成30年度から平成35年度の6年間において県及び市町村で実施するB型及びC型肝炎ウイルス検査の受検者をそれぞれ60,000人とする。 ◎肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率を80%以上とする。 ◎肝炎医療コーディネーターを平成35年度末までに150人養成する。 ⇒肝がんの75歳未満年齢調整死亡率を低減させ、全国平均レベルを目指す。	◎肝炎ウイルス検査受検者数 H30～R4累計：24,714人⇒未達成 ◎精密検査受診率 H30～R4平均：60.5%⇒未達成 ◎肝炎医療コーディネーター養成者数 R5年度末：237人⇒達成 ⇒肝がん75歳未満年齢調整死亡率の低減 R4：3.3（全国3.5）⇒達成

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑪（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
島根県	島根県肝炎対策推進基本指針 島根県がん対策推進計画	◎5年間の肝炎ウイルス受検者を38,500人以上とする（令和8年度末まで） ◎要精密検査者の受検率:90%以上（令和8年度末まで） ◎肝がん年齢調整死亡率（人口10万人対）:男性31.2以下に（14%減）、女性11.0以下に（12%減）（令和8年度末まで）	◎肝炎ウイルス受検者 :6,256人（令和4~5年度累積） ◎要精密検査者の受検率 :100% ◎肝がん年齢調整死亡率（人口10万人対） :男性33.3 女性10.2
岡山県	岡山県肝炎対策計画	（全体目標） ◎令和8年までに、肝がんの死亡者数を令和2年の431人から395人以下とする。 （個別目標） ◎肝炎ウイルス検査数（市町村、県（保健所、医療機関委託）実施） 18,353件（平成28年~令和2年平均）→100,000件以上（5年間累計） ◎地域肝炎対策サポーター新規登録者数 23人（平成28年度~令和2年度平均）→110人以上（5年間累計）	（全体目標） ◎令和4年度 肝がん死亡者数384人 （個別目標） ◎令和4年度 肝炎ウイルス検査数 B型 13,956件 C型 14,035件 （B型・C型平均 13,996件） ◎地域肝炎対策サポーター新規登録者数 令和4年度 26人 令和5年度 54人
広島県	安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン 健康ひろしま21 広島県保健医療計画 広島県がん対策推進計画 広島県感染症予防計画 広島県肝炎対策計画 広島県医療費適正化計画 ひろしま高齢者プラン	【基本理念】県内どこに住んでいても、生涯にわたって、いきいきと暮らすことができるよう、肝炎ウイルスに持続感染している者（ウイルス性肝炎から進行した肝硬変又は肝がんの患者を含む。）が安心して治療を受けられる社会を構築します。 【目指す姿】県民全てが肝炎について正しい知識を持ち、予防、受検、受診・受療及び偏見・差別の解消等の肝炎対策に主体的に取り組んでいます。 【全体目標】B型肝炎及びC型肝炎の重症化予防対策に取り組むことにより、「令和8（2026）年までに、肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率を、全国平均以下まで低減」を目指します。 【注視する指標】 ・肝炎ウイルスを受けたことがある者の割合（B型70%、C型60%） ・治療導入時から肝硬変と診断される者の割合（B型17%、C型22%） ・定期受診により病態進行の有無を確認した者の割合（B型40%） ・肝炎ウイルスに関する正しい知識の認知度（一般60%、偏見・差別50%）	・肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率 広島県4.6、全国3.5 ・肝炎ウイルス検査を受けたことがある者の割合 B型58.1%、C型50.5% ・治療導入時から肝硬変と診断される者の割合 B型20.3%、C型22.9% ・定期受診により病態進行の有無を確認する者の割合 35.7% ・肝炎ウイルスに関する正しい知識の認知度 一般37.6%、偏見・差別30.7%

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標⑫（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
山口県	山口県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク患者（肝炎ウイルスキャリア、常習飲酒家、脂肪性肝障害）を発見し、継続的にフォローする ・肝炎ウイルス検診の受診率を向上 ◎ C型肝炎ウイルス検診受診者の累積数：272,000人（35年度） 	<p>◎ C型肝炎ウイルス検診受診者の累積数： 実績数 257,534人（35年度）</p>
徳島県	徳島県肝炎対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎全体目標 ・肝がんの75歳未満年齢調整死亡率6.6（人口10万対）を全国平均まで改善 ・肝がんの年齢調整罹患率17.8（人口10万対）を全国平均まで改善 ◎主な施策と目標 ・職域において、肝炎に関する正しい知識を深め、患者が安心して治療継続できる職場環境、相談体制を整備 ・職域における、肝炎ウイルス検査数の増加 ・肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率 H27 30% → H35 90%以上 ・肝炎医療コーディネーターの役割や活動内容の明確化及び活動サポート体制の構築 ・プレミアムコーディネーターを新たに養成 	<p>◎全体目標・・・評価：「努力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺がんの75歳未満年齢調整死亡率4.1（R4）（全国平均3.5） ・肺がんの年齢調整罹患率14.9（R1）（全国平均12.0） <p>◎主な取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職域の肝炎ウイルス検査の実施勧奨の周知、事業所における出張肝臓病教室を実施 ・肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率 32%（R4）・・・評価：「努力」 ・肝炎医療コーディネーター及びプレミアムコーディネーターを引き続き養成
香川県	香川県肝炎対策推進計画 香川県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び市町で実施するB型・C型肝炎ウイルス検査の20歳以上人口当たりの受検者数全国上位を目指す。 ◎職域での肝炎ウイルス検査の実施状況を把握し、検査実施企業を増やす。 ◎肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率を90%以上とする。 ◎陽性者フォローアップ実施体制整備市町割合100%を目指す。 ・保健医療圏ごとの肝疾患専門医療機関数を維持するとともに、肝疾患専門医療機関を増やす。 ・県民が正しい肝炎の知識を持つ。 ・働きながら適切な肝炎治療が行えるよう相談体制を整備する。 ◎肝炎医療コーディネーターを令和8年度までに450人養成する。 ・肝炎医療コーディネーターの活動状況を把握し、活動率の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び市町で実施するB型・C型肝炎ウイルス検査の20歳以上人口当たりの受検者数全国上位を目指す。 ⇒現時点で未検証 ・職域での肝炎ウイルス検査の実施状況を把握し、検査実施企業を増やす。⇒R5年度は実施なし ・肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診率を90%以上とする。⇒現時点で未検証 ・県民が正しい肝炎の知識を持つ。⇒啓発活動及びR6から肝炎関係記事を市町広報誌へ掲載依頼開始 ・働きながら適切な肝炎治療が行えるよう相談体制を整備する。 ⇒拠点病院の窓口対応継続、コーディネーター増加 ・肝炎医療コーディネーターを令和8年度までに450人養成する。⇒R5時点 427名 ・肝炎医療コーディネーターの活動状況を把握し、活動率の向上を目指す。⇒R5時点 活動率66.2%

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標^⑬（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標 ・その他）	達成状況
愛媛県	第3次愛媛県肝炎対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝及び肝内胆管がん粗死亡率を3割低下させ、全国平均レベルを目指す。粗死亡率：18.6へ ◎肝炎ウイルス検査受検件数を増加させる。約130,000件へ ◎肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業による初回精密検査費用の助成件数を増加させる。 約100件へ ◎肝炎医療コーディネーターの認定者数を増加させる。約600人へ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝及び管内胆管がん粗死亡率：25.0 ◎肝炎ウイルス検査受検数：31,002件 ◎初回精密検査費用助成件数：5件 ◎肝炎医療コーディネーター認定者数：553人
高知県	第8期高知県保健医療計画 高知県がん対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎ウイルス検査の受検者数の増加を図る ◎肝炎陽性者の精密検査受診率：90%以上 ◎各治療医療機関に肝炎医療コーディネーターを1人以上配置 	<ul style="list-style-type: none"> ◎達成（R5:B型295件 C型294件 R6:B型372件 C型360件） ◎未達成（0名/1名） ◎未達成(50機関/94機関)
福岡県	福岡県肝炎対策推進計画 福岡県がん対策推進計画 福岡県健康増進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）を30%減少 ◎肝炎ウイルス検査の受検者数の増加を図る： 受検者数を年間約38,000人から42,000人に引き上げ ◎肝炎ウイルス無料検査の陽性者の精密検査受診率100% ・拠点病院と専門医療機関、治療医療機関等との連携強化を図る ◎肝炎医療コーディネーターの増加を図る：平成30～35年度までに900人を養成 ・県民への正しい知識の普及のため、効果的な啓発に努める ・肝炎に関する相談、支援体制の一層の周知に努める ・肝疾患相談支援センターによる相談支援を充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率 28.2%減少（平成29年→令和4年） ◎肝炎ウイルス検査の受検者数 32,341人（平成30年度～令和4年度平均） ◎精密検査受診率 平成30年度：B型50%、C型80% 令和1年度：B型68%、C型93% 令和2年度：B型56%、C型76% 令和3年度：B型53%、C型61% 令和4年度：B型38%、C型38% 令和5年度：B型57%、C型54% ◎肝炎医療コーディネーター養成者数 1,153人（平成30年度～令和5年度）

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標^⑭（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標・その他）	達成状況
佐賀県	佐賀県肝疾患対策推進計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がん罹患患者数：がん登録データの2013年症例数と比較し40%減 ◎要精密検査者の医療機関受診率（累計）：90%以上（2018～2023年度） ◎働く世代の肝炎ウイルス検査の受検者数（累計）：75,000人以上（2018～2023年度） ◎肝炎治療費助成認定者のうち定期検査費助成の利用率：50%以上（2018～2023年度） 	<p>【未達成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎罹患患者数：2%減 348名(2013年)→341名(2019年) ◎要精密検査者の医療機関受診率（累計）： 79.6% ◎働く世代の肝炎ウイルス検査の受検者数（累計）： 22,327人 ◎肝炎治療費助成認定者のうち定期検査費助成の利用率：28.0%
長崎県	長崎県医療計画 長崎県がん対策推進計画	<p>（目標年：2023年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎肝炎ウイルス検査受検者数（目標値：1,200人） ◎肝炎ウイルス検査陽性者のうち、肝疾患専門医療機関等の医療機関を受診した者の割合 （目標値：95%） ◎肝がん年齢調整死亡率（目標値：3.9） 	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎ウイルス検査受検者数：761名（県実施分） ・陽性者の医療機関受診割合：100%（県実施分） ・肝がん年齢調整死亡率：4.4（2022年） ※2023年分は公表されていない。
熊本県	熊本県第2次肝炎対策推進計画 第8次熊本県保健医療計画	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんの年齢調整罹患率 12.6(令和8年度時点) ・フォローアップ事業 毎年度実施 ◎肝炎ウイルス受検者数 B型・C型ともに8,600人(令和8年度時点) ・ホームページの充実及びチラシ配布を年1回行う ◎肝疾患コーディネーター数 552人(令和8年度時点) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎肝がんの年齢調整罹患率 13.0(令和2年度時点) ◎肝炎ウイルス受検数 B型：9,290人、C型9,088人(令和4年度時点) ◎肝疾患コーディネーター数 494人(令和5年度時点)

各都道府県の肝炎対策に係る計画や目標^⑮（令和5年度）

都道府県	肝炎対策に係る主な計画	主な目標（◎数値目標・その他）	達成状況
大分県	大分県医療計画 大分県がん対策推進計画	◎肝臓がん死亡率（粗死亡率）（人口10万対）：28.5 ◎肝炎ウイルス検診受診者数：未受診者全てに検査実施 ◎肝炎ウイルス検査の受診率（40歳節目検診の受診率）：増加 ◎肝炎治療受給者証累積発行数：必要な人全部	◎肝臓がん死亡率（粗死亡率）（人口10万対）：23.9 ◎検診受診者数 R5年度 B型 1,592人 C型 1,591人 （R4年度 B型 1,451人 C型 1,449人） ◎40歳節目検診の受診率：減少 R4年度 B型25.7% C型25.7% （R3年度 B型27.4% C型27.6%） ◎肝炎治療受給者証累積発行数 R5年度 B型 13,013人 C型 5,800人
宮崎県	宮崎県医療計画 宮崎県がん対策推進計画	◎市町村健康増進事業、保健所、委託医療機関における肝炎ウイルス検査受検者数： B型肝炎100,000人（2023年度～2028年度の合計） C型肝炎100,000人（2023年度～2028年度の合計） ◎肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨を行う市町村数：全市町村 ◎肝炎医療コーディネーター配置状況：全保健所、全市町村、全肝疾患専門・協力医療機関に配置 ◎肝疾患に関する研修会の受講者数：450人以上（2023年度～2028年度の合計）	◎市町村健康増進事業、保健所、委託医療機関における肝炎ウイルス検査受検者数 B型肝炎58,993人（平成29年度～令和4年度の合計） C型肝炎58,446人（平成29年度～令和4年度の合計） ◎肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨を行う市町村数 19/26市町村（令和4年度） ◎肝炎医療コーディネーター配置状況 全保健所・全市町村：29/34か所（令和4年度） 肝疾患専門医療機関：30/48か所（令和4年度） 肝疾患協力医療機関：25/40か所（令和4年度） ◎肝疾患に関する研修会の受講者数 268人（平成29年度～令和4年度の合計）
鹿児島県	鹿児島県保健医療計画 鹿児島県がん対策推進計画	◎B型肝炎ウイルス検査受診者：56万人以上（令和11年度末まで） ◎C型肝炎ウイルス検査受診者：50万人以上（令和11年度末まで）	◎B型：約48.5万人（令和4年度末時点） ◎C型：約42.5万人（令和4年度末時点）
沖縄県	沖縄県保健医療計画	◎公費肝炎検査実施件数 増加（30年度令和6年度から12年度） ◎公費肝炎治療開始者数 増加（30年度令和6年度から12年度）	公費肝炎治療開始者数に一部減少が見られるものの概ね達成しております。